

総合区の予算

総合区制度ってなんだろう？



総合区長にできることが増えるけど、予算はどうなるの？



総合区長が直接管理できる予算は、今までより多くなります。それにより、住民ニーズ(要望など)に応じた特色あるサービスを行います。



私たちの声は予算に反映されるのかな？



住民ニーズを把握する総合区長が、予算編成を行う市長と意見交換を行い、住民ニーズを市政・区政に反映していきます。



総合区の予算や、他の総合区との比較も可能となるように、予算書の工夫などを行って、「予算の見える化」もさらに推進されますよ。

総合区長の予算への関与

総合区長は、総合区内の住民に密接に関わる予算について、市長に意見を述べるすることができます。

大阪市全体の仕事を行う市長と、住民に身近な仕事を行う総合区長が、予算編成に向けて意見交換することで、市全体の一体性を確保・継続しつつ、住民の皆さんのニーズを市政・区政に反映していきます。

どうして大都市制度の検討が必要なのか



大阪市では、どうして「大都市制度」の検討をしているの？



大阪市では、大阪府と一緒に、首都・東京と並ぶ西の核として、東西二極の一極を担う「副首都・大阪」をめざしているんです。



そのためには、都市としての機能を充実させること、またそれを支える制度面の取組みも必要になってきます。



わかった！
「大都市制度」は制度面の取組みとして必要ってことね！



そのとおりです。今のまま取組むには限界があると考えて、副首都・大阪にふさわしい大都市制度の検討を進めているんですよ。

「副首都・大阪」がめざすもの

東京一極集中が進む日本の現状を踏まえ、次の理由から、副首都・大阪が必要と考えています。

- ①国全体の成長をけん引する複数の拠点創出
- ②首都・東京の想定外の大災害への対応
- ③分権型社会づくりの先導

副首都に向けた取組みを通じて、大阪が抱える課題を解決し、発展の果実をもとに豊かで利便性の高い都市生活を実現することをめざします。

副首都・大阪にふさわしい大都市制度

◆地域ニーズに沿った身近なサービスを提供できる「基礎自治機能の充実」



身近なことは
身近で決めよう！

◆都市機能の整備を強力に進められる「広域機能の強化」



大阪全体の成長を
スピードアップ！



副首都・大阪にふさわしい大都市制度ってどういうものなの？



大都市の課題でもある、「基礎自治機能の充実」と二重行政の解消等による「広域機能の強化」を実現していくことです。



なんだか難しいわね。



住民の皆さんに身近なことは身近で決める仕組みづくりと、大阪全体の成長をよりスピーディーに進める体制づくり、ということです。



現在の法律で実現可能な大都市制度が、「総合区制度」と「特別区制度」なんですよ。

「総合区」を設置するまでの手続き

総合区の設置は、市の条例により定めることとされているため、議会で決定することとなります。

現在は、大阪市会等で、総合区と特別区の制度設計について並行して議論を進めているところです。



「総合区制度」と「特別区制度」は、最終的には大阪市にお住まいの方が、どちらの制度を選択するか判断していくことになります。

私もこれから、「大都市制度」にもっと注目していくわ！



今、大都市制度は、大阪市会や大都市制度(特別区設置)協議会などで協議を進めているところです。これからも目にする機会があると思いますので、大阪の未来について考えていきましょう。

<総合区に関するお問い合わせ窓口>

副首都推進局問い合わせ担当

電話番号06-6208-8989 FAX番号06-6202-9355



OSAKA-KANSAI
JAPAN
EXPO2025

2025 国際博覧会(EXPO)の誘致にご賛同いただける方を「会員」として募集します。
<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/recruit-ind>

※大阪市 総合区制度に関するお知らせは、新聞折込みでお届けします。折込みは朝日・産経・日経・毎日・読売・大阪日日新聞の朝刊です。この6つの新聞を購読されていない大阪市内在住の方でご自宅への郵送をご希望の方や点字版をご希望の方は、電話・FAX等で副首都推進局へお申し込みください。(電話番号06-6208-8876 FAX番号06-6202-9355)